

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)



生きがい教室の継続を願う

高齢者生きがい創造学園
俳句教室講師

福永 靖

高齢者生きがい創造学園の皆様、明けましておめでとうございます。二〇一九年は皆様にとって、輝ける幸せな年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

私は学園の俳句教室、俳句サークルで二十年余り学び、先の阪上史琅先生の推薦で昨年の春から俳句教室の指導に当たった者です。俳句の楽しさを覚えますと、毎日が変わり、人生から退屈という言葉がなくなり、苦しいことや、悲しいことに会ってもそれを乗り越えるエネルギーが心の中にみなぎって、許容する心まで生まれるようになります。皆の生き甲斐の場として、学園は大いに貢献して来しました。環境よき中で学園が長く続けられる事を願っています。

昨年が、ここまで俳句を作れるように成りました。見てやって下さい！

すくわれてバケツに泳ぐ金魚かな 和田恒夫 広瀬邸栄華の歴史もみじ映え 野口美智子

明けて見る台風一過の安堵かな 梅川健治 あじさいは時の早さを知らず花 加藤佳子

金色の宇宙を担ぐ秋祭 加藤一善 早口で経読み次へ盆の僧 小田幸美

台風は都大路を通りをり 清水哲夫 紫陽花の雫も青き花の色 山本博満

六波羅殿欠ける満月日も落ちる 神野幸男 秋刀魚焼く上がり框の母の背 村上 等

悠悠と脇行く野猿秋遍路 高橋秀樹 秋色の木々のフレーム広瀬邸 曾我部すみれ

初秋刀魚絵手紙となり届きけり 星川淑子 もう少し生きたき余生日記買ふ

(講師) 福永立青

11	10	9	8	7	4	日
金	木	水	火	月	金	曜
趣味の料理教室 俳句教室	四季の組み木教室 書峰(書道) サンシャイン(写真) ソナタ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) 亀池B(陶芸)	書道教室 アルカディア(ハーモニカ) 美味しんぼ(料理) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	短歌みらい 絵手紙なでしこ エリーゼ(ピアノ) ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) 亀池B(陶芸)	コーラス教室 墨友(書道) 桃山D(卓球) いとこのこ(組み木) 書硯(書道)	広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池B(陶芸)	午前
山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	絵手紙あげぼの コーラスひろせ モーツァルト(ピアノ) のこのこ(組み木) 桃山D(卓球) 亀池B(陶芸)	桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙はなみずき 桃山A(卓球)	コンテニュー(ハーモニカ) 百描会(美術) 桃山B(卓球) ウツド(組み木) 亀池B(陶芸)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	午後

第七十回愛媛歌人クラブ大会の入賞歌

(十一月十一日 ひめぎんホール)

(入選)

病院の解体工事進みゆく夫終焉のあの部屋までも
伊藤 康子

孫ら来てうろろしてゐる爺なれば隠れん坊の
鬼にされけり
徳永 康夫

青き地球犯した呪い颱風は逆走しつつ襲い来
たりぬ
吉田みのる

第八回四国短歌セミナー入賞歌

(十一月二十五日 徳島市ザ・グランドホテル)

(秀作)

この国の役所に巣くう白アリは「記憶にない」
と口々に言う
吉田みのる

第四十七回西条市民短歌大会

(十二月九日 西条市民会館)

(特選)

子の家の物干し少し高すぎる同居するのは無
理かもしれぬ
高橋 征子

お互ひに呑み込む言葉ひとつあり空には冬の
月凍りつく
松本美智子

(入選)

認知症の妻をいたわり歩む背が忍び泣いてる
新緑の道
尾崎 幸子

サークル(短歌みらい)

合唱に出会えて

(講座 コーラス教室)

私と合唱との出会いは中学生時代。音楽室か
らの歌声に引き寄せられ合唱部に入部。コンク
ールに向け、必死の練習が始まった。放課後以
外も休み時間に友と口ずさみ、つたないながら
もハーモニーの心地良さを楽しんでいました。
時は流れ、退職後再び合唱への思いが芽生え、
「コーラス教室」へ。この講座の人氣は、合唱
の魅力と併せて講師である奥坂聰子先生のお人
柄を感じさせる授業にあると思います。授業は、
童謡・唱歌、名歌など合唱曲集からリクエス
トされた曲を皆で歌い、発声は基本姿勢や呼吸法
など具体的に指導してくれます。

学園祭に向けてはジャンルを問わず選曲く
ださり、センスの良さを感じます。いい曲だけ
ど一人で歌うには難しそうな曲など少しハード
ルが高く思っても先生は少しづつ繰り返し教え
てくれます。疑問や不安はその場で解決してく
ださり、うまく歌えるように導いてくれます。
皆がひとつになり曲を創りあげ、できあがった
時の感動・達成感は格別です。
合唱は、十四歳の中学生時代にタイムスリッ
プできたり、人に包まれ支えられ生きている今
を実感し、心身共にリフレッシュできます。恵
まれた機会に感謝し、今後も合唱とのご縁を繋
いでいきたいと思えます。

(泉川 高橋 雅美)

21	18	17	16	15	11	日
月	金	木	水	火	金	曜
コーラス教室 グラウンドゴルフ教室 ラージボール卓球教室 墨友(書道) あすなる(俳句)	3B体操教室 さつき(生け花) メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	写真教室 書龍(書道) やまびこ(歩く) フレッシュ2009(歩く) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	男の料理教室 書心(書道) アルカディア(ハーモニカ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	ねこやなぎ(川柳) ドルチェ(ピアノ) ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ)	ピアノ10 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 元気はつらつ(歩く)	午前
ピアノ教室 書楽(書道) いずみ(短歌) 百描会(美術) コンテニュー(ハーモニカ)	山雄会(カラオケ) なごみ(茶道) 桃山A(卓球)	ベートーヴェン(ピアノ) 桃山D(卓球)	陶芸教室 3Bフリージア(体操) コンテニュー(ハーモニカ) 桃山B(卓球)	やながわ(川柳) リスト(ピアノ) 桃山A(卓球)		午後

「はいく」の「は」

(講座 俳句教室)

「はい、これはいいですよ」

一二二教室に、かの毒舌先生とは真逆のほめて教える福永靖先生の声が聞こえます。

生徒は昔の美男美女合わせて十三名です。

講座の内容は「俳句会を通して作句力、選句力の養成」です。十一月には教室を出て広瀬公園の吟行でした。

私は、開講前のある日の電話で代表者に指名されました。この原稿は随分久しぶりの作文で四苦八苦。

俳句は世界で最短の詩と言われていますが、私は現役時代に技術系の仕事をしており、詩とはちがう世界に居ました。

以前は俳句に対しては、柿を食っている時に法隆寺の鐘が鳴った？それがどうしたの？という程度の関心でしたが。

この教室で学び始めたことを契機に、せめて「はいく」の「は」くらいは分かるようになりたいと思います。また、何とかの防止の為に、今後とも俳句に関わっていただければと思つて居るところです。

例えば、「新聞や雑誌等に投句して、その結果をヒヤヒヤドキドキしながら待つ」という楽しみを持てる様になりたい、と思つています。

そして、最後に一句、といきたいところですが紙面字数の都合上……

(大生院 和田恒夫)



俳句教室の学習風景

28	25	24	23	22	21	日
月	金	木	水	火	月	曜
のこのこ(組み木)	さくら(茶道) つれづれ(俳句)	書楽(書道)	ラージボール卓球教室	絵手紙ひよこ みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) 亀池B(陶芸)	さくら(茶道) ウッド(組み木) 桃山D(卓球) 亀池A(陶芸)	午前
桃山B(卓球)	山雄会(カラオケ) なごみ(茶道) 桃山A(卓球)	モチアルト(ピアノ) コーラスひろせ	絵手紙レッドパール 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	書硯(書道) 絵手紙すみれ 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	いとこのこ(組み木) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	午後

集中してます

(講座 四季の組み木教室)

組み木教室の朝は早い。「おはようございます」いつものように午前九時三十分ジャストに入室すると、その日の段取りの説明はほぼ終了している。あたふたと準備をして作業に取りかかるのが私の常である。今日はめずらしく早く出席したら『生きがい』の原稿執筆のくじを抽けと言う：。見事に当たりを引いてしまった：。

糸鋸盤の音がゴオー、ガアーと鳴り響いている。切り粉が室内を浮遊する中で作品の切り出しに取組む。真直ぐ切るところが曲がる。曲線部分が直線に：。「アリヤリヤ」無理に修正しようとするが無残な鋸目がくつきりと残ってしまう。最後にヤスリで研磨して仕上げるのだが、うまくいかない。後の祭りとなってしまう。

したがって、回を重ねる毎に、慎重に、慎重に、集中して、集中してえ：。脳の血管がプツリしそうで。周りに目をやると皆同様に必死に取り組んでいる。切るのが早い人、遅い人様々であるが、ピンと張りつめた空気が漂っている。

そのためか、午後は何となく疲れてボケッとしていることが多いです。「ボオーと生きてんじやねえよ！」と声が聞こえてきそうですが、ボケ防止にはかなり有効だと思いいながら今日も励んでいます。

(角野 鴉 辰孝)

写真雑感

(写真サークル サンシャイン)

写真？面白いよ。フィルム時代の違って、デジタルカメラになってからは、撮った写真をすぐ見ることが出来るしね。ボクにとつて、写真の良い所は、「(出不精)」にならないことかな。家にじっとしていたのは写真は撮れないし、必然どこかに出掛けることになる。そうすると「あ、こんな所があるんだ」とか「ここはイイね、好きだな」とか新しい発見があるよ。尤も、これとは限らないけどね。そこがムツカシイ。

作品展が年に数回有り、これがプレッシャーと言えばプレッシャーかな。いいかえれば、刺激が有ると言うことだけ。でも、どの写真を作品として出せばいいのか迷うんだよね。撮った写真をじっと見ているとダンダン良いのやら、悪いのやら、わからなくなってくる。自分の好きな写真と良い写真は違う様な気がするし、最近肖像権の問題もあるしね。

でも、良い写真って何だろう。きれいな写真？インパクトの有る写真？どうもよくわからないなあ。まあ、老い先短いことだし、楽しむことを優先させてだね、ガンバローね。ボオーっといきてんじやネエよ。とチコちゃんに言われないうちに。

(金子 大石 敏朗)

日曜	午前	午後
----	----	----

28	月	桃山D (卓球)
----	---	----------

29	火	みどり (茶道) ワルツ (ダンス) 別子GG (ゴルフ) 亀池B (陶芸)	桃山A (卓球) 亀池B (陶芸)
----	---	---	----------------------

30	水	書心 (書道) アルカディア (ハーモニカ) 広瀬GG (ゴルフ) 元気はつらつ (歩く) 桃山C (卓球) 亀池A (陶芸)	コンテニュー (ハーモニカ) 桃山B (卓球) 亀池A (陶芸)
----	---	--	--

31	木	書龍 (書道) 別子GG (ゴルフ) 桃山D (卓球)	コーラスひろせ
----	---	-----------------------------------	---------

◆今月のロビー展◆

ねこやなぎ (川柳) やながわ (川柳)
俳句教室 (講座) 陶芸教室 (講座)
写真教室 (講座)

*二月の予定

弥生 (生け花) さつき (生け花)
生け花教室 (講座)
短歌みらい (短歌) いずみ (短歌)

孫と連弾

(ピアノサークル エリーゼ)

協調性のない私が、学園でピアノを始め、十年以上になります。山内恵里先生の優しく、生徒の個性を大切に下さる指導と、サークルの人達との、つかず離れずのほどよい関係が居心地よく、あつという間でした。

去年、念願だった辻井伸行さんの音楽と絵画コンサートに徳島まで行き、心から楽しませてくれる美しい音色に感動して以来、納得のいく一音が出せるように、毎日楽しく練習しています。

何年経っても、発表会はドキドキ、緊張して楽しむ余裕がなく今年こそ頑張ろうと思っても、いつも失敗しています。

三歳の孫がピアノに興味を持ったなら、発表会で連弾したいと思っています。バアバが、失敗をおそれず、余裕をもって美しい音色で伴奏して、孫と息のあった演奏するのが目標です。

(角野 小野 富子)

グラウンドゴルフ活動報告

第74回茨城国体GG競技大会・第2回県代表選考大会

11月23日(金)

【3R】

県運動公園補助競技場

個人 男性

4位

奥坂 功

【50打】

個人 女性

4位

薦田 明世

【55打】

第32回全国GG交歓福岡大会・県代表選考大会

12月1日(土)

【3R】

県運動公園多目的広場

個人 男性

4位

飯尾 邦彦

【52打】

個人 女性

4位

薦田 明世

【54打】

第89回東予支部GG協会西条大会

12月15日(土)

【3R】

西条市東部運動公園多目的広場

個人 男性

優勝

大賀 敏廣

【46打】

(総合優勝も兼ねる)

女性 4位 神野 達乃 【50打】

◇ご恵贈お礼◇

◎ロビー生け花 十二月度

鴻上 美智甫 様 (講師)

神野 早希甫 様 (講師)

◎川柳にいはま 十二月号

にいはま川柳会 様

◎日本大地図

短歌みらい 石井 典一 様

私たちのサークル活動

(ハーモニカサークル・コンテニュー)

私たちコンテニューは、宇佐美進・莖田正治両先生のご指導のもと九年を経過しました。講座生からサークルに移るとき、みんなで作ったサークルを「できる限り継続するぞ」という考えのもと、英訳のコンテニューと決定しました。サークルの立ち上げ当初から所属していた人は大分減ってしまいましたが、今まで県ハーモニカ協会主催のコンサート・学園の音楽の集い・学園祭は、一度も欠場したことはありません。

今年は昨年、講座生から参加してくれていますが皆様との合同練習・演奏を視野に入れて活動が活発になるよう考えていこうと思っております。(昨年度は練習方法の違いなどから別々に活動していました)

いよいよ2回目の音楽の集い・恒例の学園祭が目の前まで近づいてきました。現在最終段階の仕上げ練習に励んでいます。

この生きがい創造学園で出来るだけ長く活動が出来ることを望んで今後も頑張っていきたいと思います。

(中萩 藤田哲夫)



有朋自遠方来不亦樂乎

(書道サークル 書硯)

突然の来客だった。何時もの宅配かと印鑑を片手にドアを開けると、阿倍が笑顔で立っていた。「元気にしているか」少し訛りの利いた北陸語だった。何年振りに会うのだろう。訝しむ私に事情を述べると、「待っているから」と言葉を残して立ち去った。

阿倍とは同級。出席名簿も三番と七番。実習をはじめ何かと一括りにされる仲だった。

新居浜市からも遠望出来たが、大きな船体に赤地に白のKのマークが鮮やかだった。艀装監督として三十万屯タンカーの建造に携わっているとのことだった。この頃は精神的、肉体的に疲労困憊していた。阿倍の出現は私にとって救いの神となるのだ。

阿倍のリクエストに応じて車を転がした。唯一つ、別子銅山施設を案内出来なかった事が心残りだが屈託から離脱出来た。

完工祝賀式を了えて阿倍は去ったが、実は阿倍も類似苦悩する事情を抱えていたと知る。来県は逃避行だったのかも知れない。

追記

二年後、静岡市清水区での同期会で再会したが、タンカーの話は一切出なかった。わだかまりが溶けたのだろう。四国は彼にとって癒しの地となったのかも知れない。

(神郷 伊藤 晴敏)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

ご祝儀の壱万円を襟に留め役者はきりりと大見得を切る
尾崎 幸子

三年半(みととせはん)拘束されし安田さんの日本で食ぶる海苔巻きおにぎり 徳永 康夫
あかつきの凍て付く外は静もりてあの白き日に夫は目を瞑(と)ず 加藤 千春

サークル「短歌いずみ」

平成の終わりの秋を惜しみつつ桜もみじの香を踏みて行く 近藤 美紀
彼の世では本はいらぬと思うから本は入れるな花はあるだけ 加藤 高昌
古民家は江戸から続く住吉屋琴の音響く今宵十三夜 尾藤 文子

学園柳壇

サークル「やながわ」

新元号あかがねの空晴れ渡る 石倉 謙二
百歳へ通過点だな古希祝い 岩下 節朗

サークル「ねこやなぎ」

寝たきりの妻にも初日降りそそぐ 伊藤 敏数
陽が昇る風雨に負けずワツハツハ 伊藤 純子
いつまでも心の花は咲き続く 伊藤たみ子

わたくしのペンも猪突と同じ意気 講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「つれづれ」

紅葉寺願ひはひとつ子らの幸(さち) 片上 信子
白鳥の羽根のまぶしき冬の池 白石眞壽子
押し寿司の型母残し秋祭 高橋 智子

サークル「あすなる」

帰郷して島の踊りの音頭とる 森実みよこ
寂しくて叫んでみたし鴟の天 東原 昌美
村を呑むあばれ濁流秋出水 横山 正和

秋祭焼そばの香の強烈に 鱈雲相撲巡業やって来し
この集落同姓多し花すすき

講師 阪上 史琅